第５９回創立立記念祭式辞

秋空の下、第五十九回創立記念祭に、衆議院議員の葉梨康弘様、県会議員の中山一生様、坂本隆司様をはじめ多数のご来賓方々、並びに愛国学園理事長の織田奈美様をはじめ、学園本部の先生方のご臨席を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。また、ご家庭の皆様にも多数ご来場いただき心から感謝いたします。

さて、創立記念祭は本校の誕生を記念する日です。誕生日というのは、本人にとっては一年の中で最も大切な一日になります。それ自体をお祝いするばかりではなく、誕生日は、その人の命を与えてくれた両親に感謝する日でもあります。

ですから、今日は、本校にとっては、創立者の織田小三郎先生と淑子先生のお二人に感謝する日でもあります。

あらためて、校長として、創立の原点に立ち返るとともに、その歴史と伝統を引き継ぎながら、龍ヶ崎高校の新しい未来を創っていく決意を新たにしました。

学園の伝統行事である今日の創立記念祭の主役は生徒の皆さんです。私が皆さんに言い続けている「いつでも　誰でも　主人公」を実現させる絶好のチャンスです。私たち教職員は常に脇役であり、来賓の方々やご家庭の方々はお客様でもありますが、同時に、皆さんの応援団でもあります。

今日の創立記念祭が皆さんにとって、そしてご家庭の皆様にとっても楽しい良い思い出になることを願って校長式辞とします。